

第 38 回特別研究指定校 川崎市立平小学校

<http://www.keins.city.kawasaki.jp/school/original/ke208001.html>

専任アドバイザー

横浜国立大学 野中陽一 教授

研究テーマ

「豊かに伝えあう力を育む授業づくり」

～「情報活用能力を育成するためのカリキュラム」

の作成を通して～

平小がめざす

「豊かに伝えあう」とは？

メディアを適切に利用し
説得力のある資料を
作成したり
説明・発表したり
しながら
ものの見方や考え方を
広げ、深める

平成 24 年度 研究実施計画

第 1 期 ICT の基本的な操作スキルの習得 【使ってみせる, 使いたくさせる】

4 月 ICT 校内研修会

・教室に常設された ICT に
教師が慣れ親しむ

5 月 第 1 回授業研究会

5 年・社会科

「日本にはなぜ四季があるの
～地域によってちがう気候～」

・教師が ICT を効果的に
活用した授業の実践

6 月 第 2 回授業研究会

・全クラスが ICT を日常的に
活用した授業を公開

3 年・国語科「気になる記号」

4 年・算数科「整理のしかた」

・各教科における情報活用の
場面の洗い出しと実践

7 月 第 3 回授業研究会

1 年・国語科「くちばし」

2 年・生活科

「しゅっぱつ！

なかよしたんけんたい」

・各教科における情報活用の
場面の洗い出しと実践

・情報活用の実践力について
暫定的な柱を立てて

単元を分類

第 2 期 ICT を道具として活用する① 【使わせてみる】

8～12 月

【公開】中間報告会（12 月 12 日）

第 3 期 ICT を道具として活用する② 【使わせてみる, 手段を選択させる】 1～3 月

第 4 期 豊かに伝えあう 平成 25 年度

授業での活用方法を考える ICT 校内研修会 ～ICT の設置・設定・配線をクエスト形式で体験～

MISSION 1 2 3 4

目の前にある ICT 機器をつないでみよう。

ヒント：準備編・かけるもん簡単スタートガイド

MISSION 1 2 3 4

グループでどんな授業作りに取り組むのか
以下の 2 点について具体的なイメージを
グループ内で共有しよう。

(1) 活用の場面

(2) ICT 機器を使う意図や目的



《教室に常設された ICT》

- ☆大型モニタ (50 インチ, 地デジ)
- ☆ノート PC (インターネット接続)
- ☆教材提示装置
- ☆ワイヤレスペンタブレット
- ☆DVD プレーヤー



★クラス全体で
共有したり集中させたりしたい時
資料の提示に用いるメディア

★前提★
・教師が

メディアの特性とルールをきちんと配慮して活用する。
授業の構成をデザインする
子どもの状況に即して授業を実践する 授業力をもつ。

教室の 50 インチ大型テレビ

変化したり (させたり)
動いたり (かしたり)
するもの
【図や表を拡大, 静止画, 動画 etc.】

黒板 (板書)

1 授業時間中残して
子どもに意識させたり
時系列で表したり するもの
【めあて, ポイント, まとめ etc.】

模造紙・拡大コピー

前時までの学習内容 (板書) を
書き写したり 撮影したり して
ふりかえるもの
【ふりかえり etc.】



日常的な ICT 活用に, 野中教授も太鼓判!!

でも・・・

情報教育とは, ICT を使って授業すること
だけではない!!



気になる記号を
分類・整理



分類・整理で
2 次元表を作成



くちばしの形を
言葉で分類



まちたんけんの
取材内容を計画

教科の中に含まれている「情報活用の実践力を育成する単元」
を抽出し, 整理することで, カリキュラムができそうだ。

柱	
学年	
教科	
単元名	

情報活用の実践力
に関する 平版の
(暫定的な) 柱

- A : 分類・整理のスキル
- B : 情報収集のスキル
- C : 実地調査のスキル
- D : デジカメの活用スキル

1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 6 年



特別な授業ではなく,
日常的に使えるカリキュラムを
職員みんなで試行錯誤しながら,
楽しんでつくりはじめたところです。
今後の平小にご期待ください!